

DRESSA

2.4GHz 4CH AUTO HOVERING & DRESS UP DRONE ●ドレッサ

INSTRUCTION MANUAL

ジーフォース ドレッサ ユーザーマニュアル

Ver 1.02

目次

1. 安全上のご注意	
はじめに	02
2. 製品について	
製品仕様	03
内容物	03
送信機各部名称	03
操作モードについて.....	04
用語について.....	04
3. フライトの準備	
送信機の準備とLi-Poバッテリーの充電	05
アームの展開・収納.....	06
プロペラの交換方法	06
プロペラガードの取付け方法.....	06
機体と送信機の接続(バインド)	07
操作モードの変更	07
4. フライトをはじめる	
離陸と着陸	08
基本操作	09
ジャイロリセット	10
スピードの変更	10
フリップ(宙返り)モード	10
オリエンテーションモード	11
トリム調整	11
緊急停止	11
6. サポート情報	
FAQ	12
製品サポートについて	13

1. 安全上のご注意

必ずお守り下さい

はじめに

この度はジーフォース DRESSA(ドレッサ)をご購入頂き、誠にありがとうございます。
当製品は3軸ジャイロ+加速度センサーに加え、気圧センサーを搭載しており、初めての方でも安定したホバリングが行えます。安全にフライトして頂くため、必ず当説明書を最後までお読み頂き、注意事項をお守り下さい。

フライトについて

- 事前にラジコン製品のフライトが許可されている場所であるか確認して下さい。空港、送電線、鉄道施設、市街地、公共の場所など人の多い場所での飛行はおやめ下さい。天気の良い日中、目視の範囲内でのみフライトし、暗くなったり天候の悪い日には飛ばさないで下さい。
- 電波障害に気をつけて下さい。他の電波使用機器からの影響により、ラジコン用の電波が干渉を受ける場合があります。物理的にも電波的にも障害となる物が無い、見晴らしの良い広いエリアが理想的です。万が一の突発的に起こる電波障害を考慮し、常にあらゆるリスクに備えて下さい。

ケガにご注意下さい

- 本製品の対象年齢は10歳以上です。
- 回転しているプロペラは大変危険です。機体を人に近づけたり、ハンドキャッチは絶対に行わないで下さい。
- 飛行前には必ず機体を点検して下さい。飛行後も必ず機体を点検し、異常が認められる場合は修理を行うまで絶対に使用しないで下さい。

本製品はLi-Poバッテリーを採用しています

Li-Poバッテリーは小型、軽量、大出力の反面、安全に使い続けるためには適切な状態を保ち、特性上のリスクを考慮して使う必要があります。以下の注意事項を守り、正しくご利用下さい。

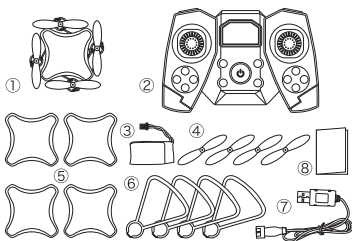
- 電圧降下のサインやパワー感の低下が現れたら使用はやめて充電して下さい。
- バッテリーに変形や匂い等の異常を見つけた場合、絶対に使用せず、廃棄して下さい。
- バッテリーは絶対に分解、改造をしないで下さい。
- 必ず専用の充電器を使い、充電中はそこから離れず、異常事態に備えて下さい。
- 充電完了後は必ず充電器から抜いて下さい。
- 利用後は必ず機体から外し、ある程度充電後、不燃性のケースに収めて下さい。
- 夏場の車内など60度以上の高温状態に放置すると破裂、発火の危険性が有ります。涼しく温度変化の少ない場所に保管して下さい。
- 長期保存の場合は満充電で保管せず、50%~80%程度の充電量にして下さい。保管後は1ヶ月に一度、充電→50%~80%まで減らす作業を繰り返して下さい。
- 使用できなくなったバッテリーは3%~5%程度の食塩水に数週間沈めて放電して下さい。容量がゼロであることを確認し、自治体のルールに則り廃棄をお願いします。

2. 製品について

製品仕様

送信機	2.4GHz 4ch MODE1/MODE2切替え仕様		
全長	76mm	バッテリー	3.7V 300mAh
全幅	76mm	充電時間	およそ40分
全高	30mm	飛行可能時間	8~9分
重量	32g(バッテリー含む)	電波到達距離	およそ30m
プロペラ全長	46mm		

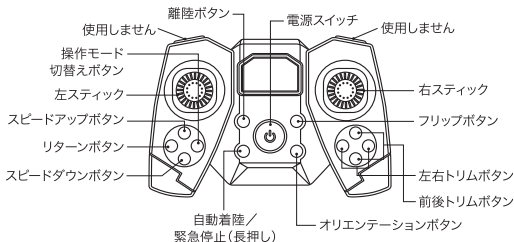
内容物



- ① DRESSA本体
- ② 2.4GHz 4ch送信機
- ③ 飛行用Li-Poバッテリー
- ④ 予備プロペラ×4
- ⑤ スペアボディ×4
- ⑥ プロペラガード×4
- ⑦ USB充電ケーブル
- ⑧ 日本語取扱説明書

※送信機用単四電池3本は別売です。

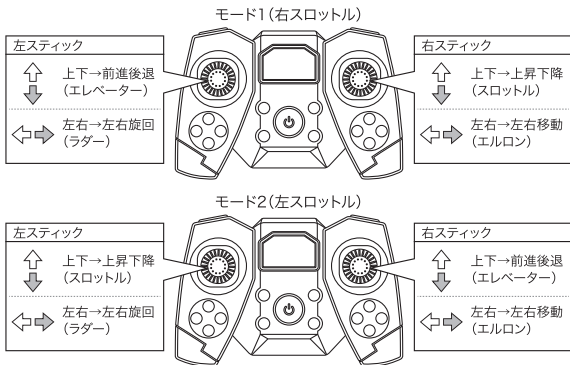
送信機各部名称



操作モードについて

当製品に付属の送信機では、ドローンの操作方法で主流のモード1とモード2のどちらの操作方法でもお使い頂く事ができます。

それぞれのモードでスティックを動かした時の機体の挙動が大きく変わってきます。ドローンの操作が初めての方は、操作方法をよく確認の上、操縦に臨んで下さい。



用語について

マニュアル内に出てくる基本的な用語について説明します。

スロットル(上下)

機体を上昇させたり、降下・着地させたりといった「高度」を制御する動きです。スティックを上げると機体は上昇し、下げると下降します。

エルロン(左右)

機体を左右に動かす「左右移動」を制御する動きです。スティックを左に傾けると機体は左に、右に傾けると右に移動します。

エレベーター(前後)

機体を前後に動かす「前後移動」を制御する動きです。スティックを上げると機体は前に、下げると後ろに移動します。

ラダー(回転)

機首を左右に回転させる「回転運動」を制御する動きです。スティックを左に傾けると機首は左に、右に傾けると右に転回します。

3. フライトの準備

送信機の準備とLi-Poバッテリーの充電

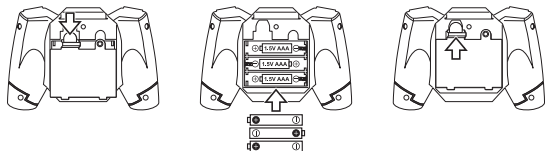
送信機に電池をセットする

送信機は単四乾電池3本(別売)が必要です。下図に従って正しい向きでセットします。

①電池カバーを外します

②単四乾電池を3本、図のように正しい向きにセットします

③カバーをしっかりと閉じます



- 送信機に使用する単四電池はアルカリ乾電池をご使用下さい。充電式電池やマンガン電池を使用すると、電圧が異なるため、正常に使用できない場合があります。

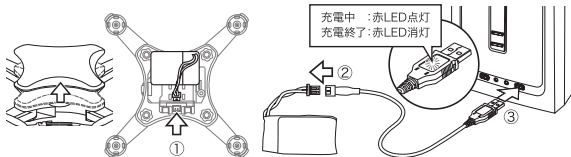
Li-Poバッテリーを充電する

使用する前に必ず充電して下さい。

充電しないでフライトすると、過放電状態となり充電する事ができなくなります。

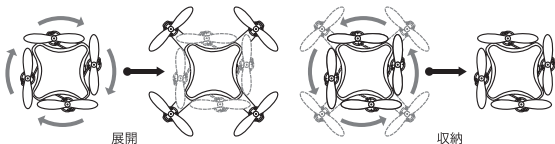
また、リチウムポリマー電池は、使い方を誤ると、膨張、破裂または発火する可能性があります。以下の説明と、2ページの「安全上のご注意」を守り、正しくお使い下さい。

- ボディカバーを外し、ドローン本体からバッテリーを抜きます
- バッテリーのコネクタにUSB充電ケーブルを挿します
- USB充電ケーブルのUSB端子をUSBポートに挿します
充電中は充電ケーブル内部のLEDが点灯し、消灯すると充電完了です
- 充電完了後は速やかにバッテリーとUSB充電ケーブルを外して下さい



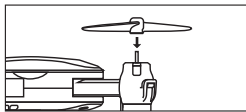
アームの展開・収納

下図の方向にアームを回転する事で、機体の展開、収納ができます。



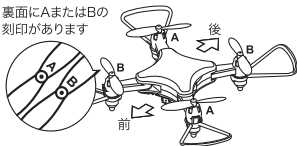
プロペラの交換方法

プロペラには向きがあります。下図の手順で正しくプロペラを取付けて下さい。



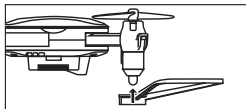
プロペラを上引き抜きます。

裏面にAまたはBの刻印があります



プロペラに刻印されているAまたはBを確認し、指定の位置に上から押し込んで下さい。

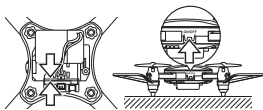
プロペラガードの取付け方法



左図を参照し、プロペラガードを取付けます。プロペラガードの向きに注意し、上まで押し込んで下さい。

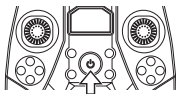
機体と送信機の接続(バインド)

フライトを始めるには、機体と送信機をリンクさせる必要があります。このリンクさせる作業をバインドと呼びます。以下の手順に従い、正しくバインドを行ってください。



1. バッテリーをつなぎ、機体の電源を入れる

機体にバッテリーをつなぎカバーを装着し、機体の電源をオンにすると、LEDが点滅します。



2. 機体を水平な場所に置き、送信機の電源を入れる

機体を水平な場所に置き、安全のため1m以上離れてから送信機の電源を入れます。



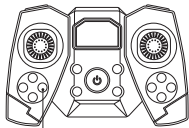
3. 送信機の右スティックを上→下と動かします

送信機から「ピッ・ピッ・ピーツ」と音がし、機体のLEDが点滅から点灯に変わればバインド完了です。



- バインドを行う前に、機体のバッテリーを充電して下さい。
- 本体に破損が無い、プロペラが4枚とも欠けや曲がりがないかを確認します。
- バインド中は機体を動かさない様ご注意ください。
- フライト終了後は必ず機体と送信機の電源を切り、機体からバッテリーを抜いて下さい。
- 長期間使用しない場合は、送信機から乾電池を抜き、機体のバッテリーは満充電後1~2分程フライトさせ、ある程度減った状態で保管して下さい。

操作モードの変更



操作モード切替えボタン
(MODE1⇄MODE2)

送信機の操作モードは標準でモード1(右スロットル)に設定されています。

モード2(左スロットル)で使用する場合は、バインド完了後に、操作モード切替えボタンを押すと送信機から「ピピッ」と音がして、モード2に切り替わります。



- フライト中でもモード切替えボタンを押すと操作モードが変更されます。フライト中の誤操作には十分ご注意ください。

4. フライトをはじめる

離陸と着陸

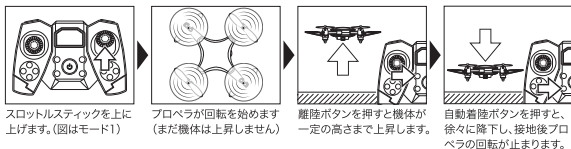
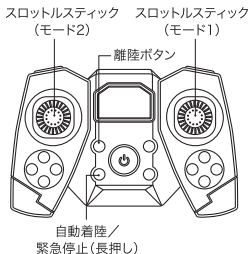
自動離陸 / 自動着陸

自動離陸:

1. バインドが完了した状態でスロットルスティックを上に出るとモーターが回転し、アイドリング状態になります。
2. その状態で離陸ボタンを押すと、機体が一定の高度まで上昇します。

自動着陸:

1. 空中で自動着陸ボタンを1回押します。
2. 徐々に降下してくるので、舵を切りながら任意の場所に誘導します。
3. 地面に接地後、停止するまで数回バウンドする事もあるので、プロペラが完全に停止するまで目を離さないで下さい。



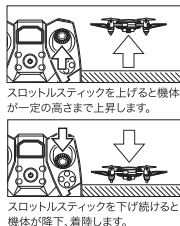
手動離陸 / 手動着陸

手動離陸:

1. バインドが完了した状態でスロットルスティックを上に出るとモーターが回転し、アイドリング状態になります。
2. その状態でスロットルスティックをもう一度上に出げると、機体が一定の高度まで上昇します。

手動着陸:

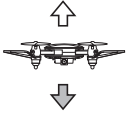


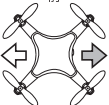


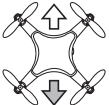


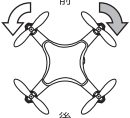


1. スロットルスティックを下に出げると降下します。
2. 機体が着地し、モーターの回転が完全に止まるまでスロットルスティックを下に入れ続けて下さい。



基本操作

離陸後は左右のスティックを使い、機体を操縦します。操作モードによって操縦の仕方が異なりますので、下記操作方法をよくご確認の上、ご使用下さい。

操作モードは標準ではモード1で動作します。

操作方向	モード1	モード2	
			<p>上昇・降下(スロットル)</p> <p>スティックの上下操作で機体の上昇、降下を行ないます。スティックを離れた位置で高度を維持します。</p>
<p>前</p>  <p>後</p>			<p>左右移動(エルロン)</p> <p>スティックを傾けた方向に機体が傾き、左右の移動を行ないます。</p>
<p>前</p>  <p>後</p>			<p>前進・後進(エレベーター)</p> <p>スティックを傾けた方向に機体が傾き、前後の移動を行ないます。</p>
<p>前</p>  <p>後</p>			<p>左右旋回(ラダー)</p> <p>スティックを傾けた方向に機体が回転し、旋回動作を行ないます。</p>



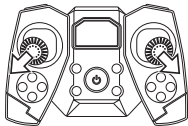
- 離陸後に機体が1方向に流れて行ってしまう場合は、ジャイロリセットをお試し下さい。
- 急に操作すると危険なので、慣れるまではゆっくり動かすようにしましょう。
- 何も操作していなくても気圧の変化により機体は上下します。室内でご利用の際は、扉の開け閉めなどに因る、気圧の変化にご注意下さい。

ジャイロリセット

フライト中に前後左右に機体の流れ、トリムでも改善できない場合はジャイロリセットを行う事で改善できる場合があります。

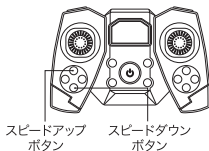
1. 機体をフライトできる状態にして水平な場所に置きます
2. 左スティックを左下、右スティックを右下で同時に保持します(図1)
3. 機体のLEDが点滅したらスティックから指を離し、機体のLEDが点灯に変われば完了です

図1



スピードの変更

本機には2種類のスピード切替えボタンがあり、フライトスピードを変更できます。スピードアップボタンを押すと速く、スピードダウンボタンを押すと遅くなり、3段階のスピード調整が可能です。(初期状態はノーマルモードになります)



「ピピピッ」・・ハイスピードモード (上級者向け)

「ピピッ」・・・ミドルスピードモード(中級者向け)

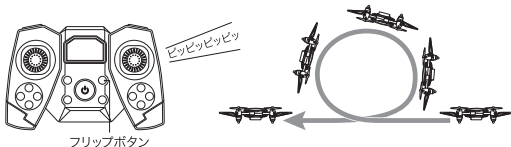
「ピッ」.....ノーマルモード (初級者向け)

※ 通常より機敏な動きができるようになりますが、操縦難易度が上がります。十分に練習を行ってからお試しください。

フリップ(宙返り)モード

フライト中にフリップボタンを押すことで、宙返りが可能なフリップモードになります。アラーム音が鳴っている最中に再度フリップボタンを押すとキャンセルされます。

1. フリップボタンを押すと「ピッピッピッピッ」と連続したアラーム音が鳴ります
2. この間に前進/後進、または左右移動を行うと自動的に宙返りを行います



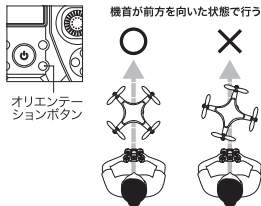
※ バッテリー残量が少ない状態では動作しません。

オリエンテーションモードとリターンモード

オリエンテーションモード

オリエンテーションモード中は機首の向きに関係なく、エルロンスティックを左右に動かすと機体は左右に、エレベータスティックを前後に動かすと前後に動くようになります。

1. 機体をフライトできる状態にします
2. 機体を水平な場所に置き、機体と送信機が一直線に並んだ状態で、オリエンテーションボタンを押して下さい
3. 送信機から「ピーツ」という動作音が鳴り、機体のLEDがゆっくりと点滅すれば、オリエンテーションモードが有効になっています
4. 再度オリエンテーションボタンを押すとキャンセルできます



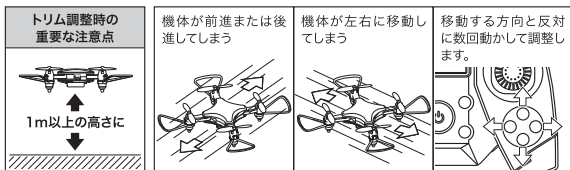
リターンモード

オリエンテーションが正しく機能した状態でリターンボタンを押すと、機体が操縦者の方に戻ってきます。リターン中に舵を操作するとキャンセルできます。

トリム調整

機体が上空に上がった際、スティック操作をしていない状態で前後左右に移動してしまうズレをトリムボタンで微調整することができます。

トリム調整は、機体が1m以上の高さにある状態で調整する必要があります。地上付近では、自身が出す風の影響により正しく調整できないため、必ず1m以上の高度で行います。



緊急停止

緊急停止ボタンを長押しすると「ピーツ」とアラーム音がし、モーターが緊急停止します。



5. サポート情報

FAQ

Q1. 機体にバッテリーをつないでも反応しない

- A1. 機体側のコネクタとバッテリーのコネクタが正しく接続されているか確認して下さい。
- A2. バッテリーは正しく充電されていますか？他のバッテリーでお試し下さい。
- A3. 機体についているON/OFFスイッチがONになっているか確認して下さい。

Q2. 機体が墜落・接触などによって反応しなくなった

- A1. 一旦機体からバッテリーを外し、再度バッテリーをつなぎ直してして下さい。
- A2. 機体の受信機は精密機器ですので、強い衝撃を受けると破損する場合があります。

Q3. 今まで問題なくフライトできていたが、突然不安定になった

- A1. LiPoバッテリーが劣化してくるとフライト時間が極端に短くなったり不安定な挙動になる場合があります。バッテリーを交換して下さい。
- A2. プロペラに変形や破損がないか確認し、問題がなければ一旦着陸させ、10Pの[ジャイロリセット]を行ってみて下さい。

Q4. フライト中、振動してしまう

- A1. ポディ・プロペラに破損や変形があると振動につながります、破損・変形がある場合は対象部位を交換して下さい。

Q5. プロペラを換えたら離陸できなくなった

- A1. プロペラの向きを正しく取り付けないとフライトできません。プロペラの取付位置に誤りがないか、6Pの[プロペラの交換方法]でご確認下さい。

Q6. 1つだけモーターが回らなくなってしまった

- A1. モーターはフライトごとに劣化していきますので、交換が必要になります。モーターの回転方向に注意し、モーターを交換して下さい。

Q7. 他の送信機で飛ばすことはできますか？

- A1. 当製品の送信機は専用品ですので、他の送信機をご使用頂くことはできません。

Q8. 修理・調整を行ってもらえますか？

- A1. 恐れ入りますが、弊社では修理・調整は行っておりません。有償にて新しい商品と交換することは可能です。定価の60%（別途送料等ご負担頂きます）の価格で提供致します。販売店様または弊社サポートへお問い合わせ下さい。

Q9. 購入したばかりだが最初から全く動かないまたは最初から破損箇所がある

- A1. ご不便をお掛けし申し訳ございません。ご購入頂いた販売店様にまずご相談頂けますようお願い致します。必ず販売店様が発行された日付入りの領収書・納品書等をお手元に保管頂けますようお願い致します。

Q10. 機体単体で購入できないの？

- A1. 現在のところ機体単体での発売はございません。

保証・修理規定

保証については、初期不良品のみに対応となります。 **保証を受ける際には領収書、レシート、納品書など購入時期を証明するものが必要です。**

購入時期を証明できない場合には初期不良品としての対応は致しかねます。 初期不良品につきましてはお手数ではございますが、弊社へお送り頂く前に事前に電話にて弊社までご連絡頂けますようお願い致します。

ご使用後の製品の破損などによる修理依頼は新品への有償交換とさせていただきます。

※税込定価の60% (送料・代引手数料別)

初期不良交換、修理有償交換ともに付属品等を完備のうえでお送り下さい。欠品があった場合、交換対応をお断りさせていただくことがあります。ご不明な点は弊社カスタマーサポートまでお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先

製品カスタマーサポート： **03-6206-0059**

電話受付：月曜日～金曜日（祝日・夏期休暇・年末年始を除く）

受付時間：10:30～12:00，13:30～16:30

（弊社での修理・調整は行っておりません。予めご了承下さい）

<随時FAQをWebで更新しています。是非ご参照下さい>

www.gforce-hobby.jp

輸入販売元：株式会社ジーフォース

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-3-1 VORT神田9階



お問い合わせ先

製品カスタマーサポート: **03-6206-0059**

電話受付: 月曜日～金曜日(祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

受付時間: 10:30～12:00, 13:30～16:30

(弊社での修理・調整は行っておりません。予めご了承下さい)

※取扱説明書の内容は、製品の仕様変更などで予告なく変更される場合があります。

※最新情報は弊社WEBサイト(www.gforce-hobby.jp)でご確認下さい。



輸入販売元: 株式会社ジーフォース

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-3-1 VORT神田9階

当社に無断で複写・転写・転載を禁じます

Copyright © 2018 G FORCE, Inc. All Rights Reserved

